

氏名	富 田 博 秋
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 1322 号
学位授与の日付	平成7年 3月25日
学位授与の要件	医学研究科 内科系神経精神医学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	CHANGES IN DOPAMINE D2 AND GluR-1 GLUTAMATE RECEPTOR mRNAs IN THE RAT BRAIN AFTER TREATMENT WITH PHENCYCLIDINE (フェンサイクリジン投与後の ラット脳に おけるD <sub>2</sub> および GluR-1グルタミン酸受容体メッセンジャー-RNAの変化)
論文審査委員	教授 森 昭胤      教授 庄盛 敏廉      教授 徳永 勲

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

フェンサイクリジンの急性及び慢性投与によるラット脳内のドパミンD<sub>2</sub>及びnon-NMDAグルタミン酸受容体のメッセンジャー-RNAの発現の変化について、相補的なオリゴヌクレオチドを用いた*in situ* hybridization法を用いて検索した。急性投与ではドパミンD<sub>2</sub>及びnon-NMDAグルタミン酸受容体のメッセンジャー-RNAの発現に変化は認めなかった。慢性投与では線条体においてドパミンD<sub>2</sub>受容体のメッセンジャー-RNAが対照群に比して有意に減少していた。また前頭前野において non-NMDAグルタミン酸受容体のメッセンジャー-RNAが有意に増加していた。その他の部位では有意な変化は認められなかった。フェンサイクリジン慢性投与による行動薬理学的変化にはドパミンD<sub>2</sub>及びnon-NMDAグルタミン酸受容体のメッセンジャー-RNAの発現の変化が関与していると考えられた。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究はフェンサイクリジン(PCP)のラット脳におけるD<sub>2</sub>および GluR-1グルタミン酸受容体 m-RNA発現に対する影響を検索したものであるが、PCPの慢性投与により上記受容体 m-RNAが脳内特定部位において変化することを明らかにし、PCPの薬理学的メカニズムの解明にとって重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。